



2023年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社 大森屋

上場取引所 東

コード番号 2917 URL <http://www.ohmoriya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲野 達郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 河田 信光

TEL 06-6464-1198

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|------|------|------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年9月期第3四半期 | 10,517 | 1.6 | 300 | 53.7 | 307 | 54.3 | 195 | 73.7 |
| 2022年9月期第3四半期 | 10,684 | | 649 | | 672 | | 745 | |

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 277百万円 (61.1%) 2022年9月期第3四半期 713百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年9月期第3四半期 | 38.93 | |
| 2022年9月期第3四半期 | 148.07 | |

(注) 2022年9月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しております。このため、2022年9月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年9月期第3四半期 | 14,852 | 11,455 | 77.1 | 2,276.63 |
| 2022年9月期 | 14,778 | 11,278 | 76.3 | 2,241.51 |

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 11,455百万円 2022年9月期 11,278百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年9月期 | | 0.00 | | 20.00 | 20.00 |
| 2023年9月期 | | 0.00 | | | |
| 2023年9月期(予想) | | | | 15.00 | 15.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 14,180 | 0.1 | 340 | 38.3 | 350 | 39.9 | 220 | 67.7 | 43.72 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年9月期3Q | 5,098,096 株 | 2022年9月期 | 5,098,096 株 |
| 期末自己株式数 | 2023年9月期3Q | 66,364 株 | 2022年9月期 | 66,364 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年9月期3Q | 5,031,732 株 | 2022年9月期3Q | 5,031,732 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い行動制限が緩和され経済活動の正常化が進み景気は持ち直しの動きが見られるものの、原材料価格やエネルギー価格の高騰、物価上昇等、依然として不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により外食需要が回復してきており、内食需要も安定した推移となりました。賃上げによる消費者の購買意欲の上昇が見られるものの、商品価格の相次ぐ値上げの不安感から消費者の堅実志向、節約志向もさらに強まりました。

当社グループを取り巻く市場環境としましては、主要原材料である原料海苔は主要産地の有明海での記録的な不作による収穫量の大幅な減少から仕入価格が全国的に高騰し、電力料や燃料費、物流費の高騰など製造コストも大幅な増加となりました。また、相次ぐ値上げによる消費者の生活防衛意識の高まりから節約志向も高まり、依然として厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社では効率的な生産活動に努めてまいりましたが、原材料費、物流費、人件費をはじめとするコスト増による利益面への影響が深刻な状況となり、家庭用海苔、業務用海苔およびふりかけ等のうち一部製品の価格改定を実施いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、10,517百万円（前年同期比1.6%減）となりました。利益面におきましては、原材料費および経費の増加により、営業利益は300百万円（前年同期比53.7%減）、経常利益は307百万円（前年同期比54.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は195百万円（前年同期比73.7%減）となりました。

なお、当社グループにおける報告セグメントは主として「食品製造販売事業」であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

売上高を品目別に分類しますと、家庭用海苔につきましては、売上高は4,203百万円（前年同期比6.1%減）となりました。進物品につきましては、売上高は461百万円（前年同期比2.3%増）となり、ふりかけ等につきましては、「緑黄野菜ふりかけ・小魚ふりかけ」等のふりかけ製品は好調に推移しましたが、新製品の売上が苦戦し、売上高は1,634百万円（前年同期比3.4%減）となりました。業務用海苔につきましては、コンビニエンスストア等の弁当・おにぎり等の需要は経済活動の回復により堅調に推移し、売上高は4,144百万円（前年同期比3.8%増）となりました。その他につきましては、売上高は74百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて74百万円増加し、14,852百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて31百万円増加し、11,683百万円となりました。これは棚卸資産が2,034百万円、その他の流動資産が243百万円それぞれ増加したこと、現金及び預金が2,187百万円、受取手形及び売掛金が59百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて43百万円増加し、3,169百万円となりました。これは主に、投資有価証券が111百万円、建設仮勘定が26百万円それぞれ増加したこと、建物及び構築物が51百万円、繰延税金資産が40百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて57百万円減少し、2,659百万円となりました。これは主に、未払法人税等が244百万円、未払金が184百万円、支払手形及び買掛金が88百万円、その他の流動負債が87百万円それぞれ減少したこと、短期借入金が557百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて45百万円減少し、737百万円となりました。これは主に、長期借入金が42百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて176百万円増加し、11,455百万円となりました。これは主に、利益剰余金が95百万円、その他有価証券評価差額金が74百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における連結業績予想につきましては、2022年11月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。今後の進捗状況を踏まえ、修正が必要な場合は、適時適切に開示させていただく予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,182,760 | 995,630 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,912,430 | 2,853,372 |
| 棚卸資産 | 5,471,240 | 7,505,573 |
| その他 | 85,591 | 328,801 |
| 流動資産合計 | 11,652,023 | 11,683,378 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 3,067,094 | 3,068,694 |
| 減価償却累計額 | △1,730,000 | △1,783,444 |
| 建物及び構築物(純額) | 1,337,094 | 1,285,250 |
| 機械装置及び運搬具 | 2,572,828 | 2,635,761 |
| 減価償却累計額 | △2,113,596 | △2,173,091 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 459,231 | 462,669 |
| 土地 | 696,871 | 696,871 |
| 建設仮勘定 | 3,850 | 30,800 |
| その他 | 109,485 | 92,653 |
| 減価償却累計額 | △88,177 | △76,668 |
| その他(純額) | 21,307 | 15,984 |
| 有形固定資産合計 | 2,518,355 | 2,491,576 |
| 無形固定資産 | 33,757 | 31,688 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 403,732 | 515,476 |
| 繰延税金資産 | 136,583 | 96,150 |
| その他 | 36,082 | 36,648 |
| 貸倒引当金 | △2,500 | △2,500 |
| 投資その他の資産合計 | 573,897 | 645,775 |
| 固定資産合計 | 3,126,010 | 3,169,041 |
| 資産合計 | 14,778,033 | 14,852,419 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 877,578 | 788,722 |
| 短期借入金 | 109,263 | 666,913 |
| 未払金 | 475,938 | 291,834 |
| 返金負債 | 707,598 | 666,245 |
| 未払法人税等 | 252,500 | 8,000 |
| 賞与引当金 | 108,900 | 139,798 |
| その他 | 185,165 | 98,133 |
| 流動負債合計 | 2,716,943 | 2,659,648 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 325,442 | 283,345 |
| 長期末払金 | 40,408 | 39,595 |
| 退職給付に係る負債 | 416,543 | 414,427 |
| 固定負債合計 | 782,394 | 737,368 |
| 負債合計 | 3,499,337 | 3,397,016 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 814,340 | 814,340 |
| 資本剰余金 | 1,043,871 | 1,043,871 |
| 利益剰余金 | 9,406,599 | 9,501,868 |
| 自己株式 | △57,125 | △57,125 |
| 株主資本合計 | 11,207,685 | 11,302,954 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 118,850 | 193,031 |
| 為替換算調整勘定 | 4,427 | 6,040 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △52,267 | △46,624 |
| その他の包括利益累計額合計 | 71,010 | 152,447 |
| 純資産合計 | 11,278,695 | 11,455,402 |
| 負債純資産合計 | 14,778,033 | 14,852,419 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 10,684,438 | 10,517,753 |
| 売上原価 | 8,580,195 | 8,823,862 |
| 売上総利益 | 2,104,242 | 1,693,890 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,454,492 | 1,393,028 |
| 営業利益 | 649,749 | 300,861 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 26 | 30 |
| 受取配当金 | 6,695 | 6,995 |
| 為替差益 | 15,279 | — |
| その他 | 1,937 | 2,012 |
| 営業外収益合計 | 23,939 | 9,038 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,036 | 2,072 |
| 為替差損 | — | 752 |
| その他 | 123 | 52 |
| 営業外費用合計 | 1,159 | 2,878 |
| 経常利益 | 672,529 | 307,022 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 417,231 | 99 |
| 特別利益合計 | 417,231 | 99 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 142 | 0 |
| 特別損失合計 | 142 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,089,618 | 307,122 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 361,287 | 105,982 |
| 法人税等調整額 | △16,734 | 5,235 |
| 法人税等合計 | 344,552 | 111,218 |
| 四半期純利益 | 745,065 | 195,903 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 745,065 | 195,903 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 745,065 | 195,903 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △34,531 | 74,181 |
| 為替換算調整勘定 | △2,946 | 1,613 |
| 退職給付に係る調整額 | 5,769 | 5,643 |
| その他の包括利益合計 | △31,708 | 81,437 |
| 四半期包括利益 | 713,356 | 277,341 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 713,356 | 277,341 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループにおける報告セグメントは主として「食品製造販売事業」であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。